

最年長での初優勝

50歳前にゴルフと出会う

元小学校の校長先生

《九州スーパーシニアカップ男子》

2オーバー 74

丹山 慶二郎（都城母智丘、84歳）



【写真は優勝した丹山Ⓔと今大会に出場した仲のいい瀬戸山Ⓔ】

優勝が決定しても、信じようとはしなかった。「夢としてこうゆう（優勝）を思うことはあるが、まさかね。不思議だ。ベスト10入りが目標だったし。できすぎ。まぐれ。ラウンドできるかどうかも分からなかったし」と丹山が首をひねる。

その理由はこうである。右肩の調子が思わしくなく、脊柱管狭窄症にも悩まされていた。「参加料を捨てるつもりで」とエントリーをしたのは締め切りの1日前。ただ、ゴルフ仲間の瀬戸山英夫（レインボー、80歳）が今大会にデビューするため、4度目出場となる丹山と一緒に行くことを約束していた。出場は微妙な状態で、キャディーさんにも「ハーフでやめるかもしれない」と断っていたほどだが、何とか完走した。

そして優勝である。本人が言うには「力が抜けて良かった」と。ドライバーショットでフェアウエーを外したのは14ホール中3度だけ。みんなが手こずったグリーンも「タッチも合ったし、ラインも出た」と4バーディー（6ボギー）である。これまで3度の成績は19位、17位、去年は2度のトリプルボギーもあって28位だった。宮崎県内では新聞社やテレビ局主催の大会などで6度の優勝を誇るが、今大会は優勝争いとは無縁。丹山が優勝を不思議がるのも頷ける。

ゴルフとは50歳前に出合った。兄弟と身内から誘われ、鹿児島島の桜島CC（閉鎖）でプレー。「ボールの飛び方に感動した」のがきっかけとなり、それからのめり込んだ。小学校の校長を退職し、自己流で腕を磨いた。「テレビがお師匠さん」とYouTubeを見ながらスイングやパットをチェックする。これまでの師匠は杉原輝雄、藤田寛之、宮本勝昌らが並ぶ。「いつもはなまけているけど、コースに来るとしゃきとなる。60～70歳に負けんように競争する。これがいい」と身長160cm、今大会最年長Vとなる84歳のチャンピオンが不敵に笑った。

1420回目のエージシュート



○…今大会最年長90歳での出場を果たした安藤喜三郎（大分中央）が43・44の87（28位）で回り、通算1420回目のエージシュートを達成した。69歳の時に69でラウンドして初エージシュートを記録して以来、21年目でこの数字となった。「今日はやよう打ちました。つまらんショットが多かった。3パットも6回」と18ホールを振り返った。現在では年間140～150ラウンドをこなし、昨年などはエージシュートができなかったのは3度だけ。区切りの1500回目は「来年夏ごろ」を目標としている。昨年、新車を購入したのだが、そのナンバーは「66-99」。66はこれまでのベストスコア、99は「99歳までゴルフをしよう」という意欲を形にした。70歳時の2003年に日本グランドシニア選手権を制した安藤

のゴルフ姿は澆刺としている。

目標達成の初優勝

66歳から始めて7年目

「ゴルフで友達いっぱい」

《九州スーパーシニアカップ女子》

10オーバー 82

岩切 マリ子（宮崎ゴルフ、72歳）



この大会は男子のラウンドが終了して、その後に女子が続く。男子の優勝が同じ宮崎県の丹山と知らされて、岩切は「それは良かったですね」と丹山と握手を交わした。面識はないが、同県のよしみである。

岩切も丹山と似たような優勝コメントを発した。「びっくりしました。まさか優勝するとは。優勝するまでは、この大会に出たいと思っていたので、目標が達成できました」。女子の第1回からのVスコアは73、77、78といずれも70台。岩切のスコアは82だった

だけに、なかば諦めていたかもしれない。

インスタート。11番でダブルボギーを叩き、続く12番でもボギー。悪い流れを断ち切れずに15番でもダボ。結局、前半は7オーバー43と初優勝には程遠い数字であった。ひと息ついて折り返した3番でバーディーが来ると、その後を4ボギーとしのぎ、後半を39と粘る。2位の土器梯子（佐賀、83歳）とは1打差。もし並んでいたら、「年長者上位」という大会規定で、岩切の立場は逆になっていた。

高齢者になると、病気やケガは友達のようなもの。岩切も今年、股関節を痛めた。飛距離を求めて練習しすぎたせいか、支障をきたしたのである。それからはテーピングでしっかり固定して大会に臨んでいる。今年5月には宮崎県のテレビ局主催の「MRTレディースゴルフ」で優勝。ベスグロ、ニアピンまで手にした。「股関節が痛いので上半身だけで振るようにしたら『72』。今日もそんな感じ。今年はいいい年です」と相好を崩す。男子の丹山同様に「災い転じて福」となった。

ゴルフは友人に誘われて66歳から始める。55歳まではNTTに勤めていた。クラブを持ち始めた当初は、どの番手を持っても100ヤードしか飛ばない。1年間はコースには出ずに、ひたすら練習場でボールを打った。これまでのベストスコアは「70」。

「ゴルフで友達がいっぱいできるし、いろんな大会に行くのが楽しみ。いろんな所においておいしい物を食べに行けるのもゴルフの魅力。年齢より若く見られるのもゴルフのお陰」。若さの秘訣はゴルフにありー。

《熊本ゴルフ倶楽部城南コース》



